

【プレスリリース】

「結婚相手診断ツール」の提供開始！ ～架空の結婚相手を選ばれることで思い出が脳裏に走る～

全国チェーンのキタムラが支援する「思い出づくり研究所」(<http://omoidezukuri.jp>)は、本日より思い出の大切さを再認識していただくためのキッカケとなるオンライン診断ツール「結婚相手診断ツール」を、同サイト上で公開します。

結婚相手診断ツール = (<http://omoidezukuri.jp/tool>)

結婚相手診断ツール

思い出のあの人、憧れのあの人が、そうだったかも。。。
(診断結果は毎回変わるので思い出・憧れのあの人と巡りあえるまでトライ！)

*成城大学社会イノベーション学部心理社会学科教授 野島久雄氏監修

1. 生年月日を選んでください
2010 年 9 月 1 日 生まれ
2. 性別を選んでください
 男性 女性
3. どっちで診断する？
 もし30年前に生まれていたら… もし30年後に生まれていたら…

診断する！

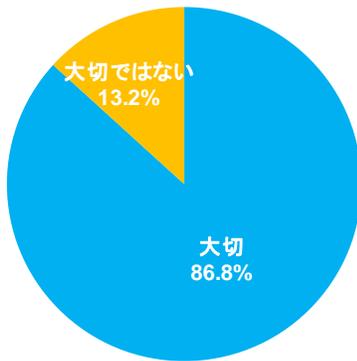
結婚相手診断ツールは、『生年月日・性別』の入力と同時に、『もし30年前に生まれていたら…』、あるいは『もし30年後に生まれていたら…』のいずれかを選択することで、その当時の著名人の名前が結婚相手として表示されます。入力された生年月日と結婚相手の年齢がリンクしているため、仮に選択した時代に生まれたとしたら、「どんな人と結婚していたのだろうか？」と想像すると同時に、昔懐かしい思い出や未来に思いを巡らせることで、思い出の大切さを改めて気付いていただきたいと思います。更にはツイッターへのつぶやき機能を使い、他の人々と診断結果を共有することで、一人でも多くの方々に思い出の大切さを知っていただきたいと思います。

表示される診断結果は、本研究所の野島久雄所長(成城大学社会イノベーション学部教授)の監修のもと、思い出の大切さに気付いていただけるような内容となっています。野島所長は、人の思い出を保存するための技術とその活用を考える「思い出工学」を専門分野として研究し、過去の「記憶」としての思い出だけではなく、明るい未来づくりのための「記録」として、思い出の重要性を提唱しています。

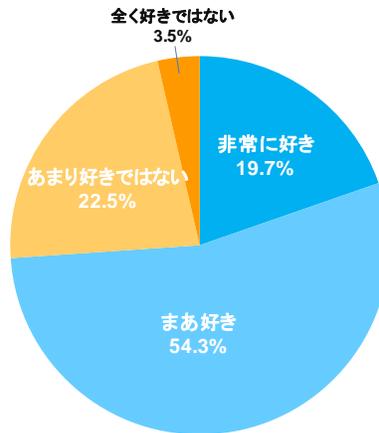
同研究所が今年4月に実施した調査(*)によると、調査対象者全体1,200名のうち86.8%が「思い出は大切である」と回答、全体の74.0%が「写真を撮影することが好き」という回答から、多くの人々が思い出を記録する方法として写真を多用していると言えます。その一方、「思い出を何かの形に残しておけば良かった」という回答が全体の35.6%と、事後になって思い出を形に残すことの重要性に気づく人も少なくはないということが判明しました。

(*) ■調査目的: 思い出と写真に関する調査 / ■調査方法: インターネット調査
■調査対象: 15~69歳の男女(中学生は除く) 計1,200名 / ■調査実施: 2010年4月末

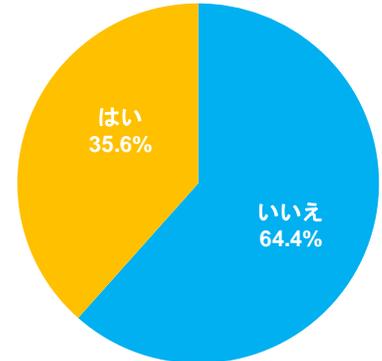
Q. あなた自身にとって
思い出は大切ですか？



Q. 写真を撮ることは好きですか？
(携帯電話での撮影も含みます)



Q. 思い出が、何かの形として残っていれば
(残しておけば)良かったと思うことはありますか？



本調査から、多くの人々が思い出は大切であり、何かの形に残しておけば良かったという後悔も多かったことから、記憶の中の思い出は、時間とともに正確さを失い曖昧になってしまうことを知っていただき、思い出を記憶に留めておくだけでなく、何かの「カタチ」として残すことの大切さも知っていただきたいと考えています。

【思い出づくり研究所について】

思い出づくり研究所は、2010年5月25日に株式会社キタムラの「すべての人を、写真の未来へ。」という企業理念を具現化する活動の一環として、野島久雄(成城大学社会イノベーション学部教授)氏を研究所所長として迎え発足しました。思い出づくり研究所は、野島所長の研究専門分野である人の思い出を保存するための技術とその活用を考える「思い出工学」の見地から、思い出と写真の関係性について調査・分析・考察し、社会へ情報発信することを目的としています。

【株式会社キタムラについて】

「すべての人を、写真の未来へ」をスローガンに、まだ誰も知らない写真体験と写真を通じたコミュニケーションを高めるため、新たな挑戦を続けるとともに、日々多様化する顧客のニーズを読み取り、顧客の思い出づくりと気づきづくりを促進していくイメージ・コミュニケーション企業です。

《本件に関するお問い合わせ先》
「思い出づくり研究所」事務局 (株式会社キタムラ内) 担当: 今野
 TEL: 050-3116-6300 FAX: 045-476-0778